

経済学部長 式辞



森口学部長

皆さん、ご卒業、ご修了おめでとございます。

今日の日を迎えられたことを、経済学部教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。これまで皆さんの学業を支えてこられた保護者の皆様にも心よりお慶び申し上げます。本日、来賓として、経済学部同窓会・越嶺会の伍嶋会長にご臨席賜り、学位記の授与を行うことは、私たちの慶びとするところでございます。

さて、卒業生・修了生の皆さんは、本日をもって大学・大学院での学びを終え、社会に向けて巣立って行かれます。それぞれが社会人としての生活に大きな期待と希望を抱いていることと思います。

ただ、世の中には、国際紛争の頻発化、自然災害の多発・激甚化、人口減少の急激な進行といった厳しい状況が

みられます。また、生成AIが劇的に発展したり、みなさんのZ世代の次のα世代が中心となる時代がすぐそこまで来ていたり、これまでとは全く違う新しい状況が生まれてきています。それは、より予測不可能性が増し、過去の経験が通用しない社会が広がっている状況といえます。

そうした状況から、今の時代は、VUCA(ブーカ)の時代、すなわち変動性や不確実性、複雑性、曖昧性が高い時代から、BANI(バニ)と呼ばれる時代として特徴づけられるようになっていきます。このBANIとは、未来研究所(IFTF(Institute For The Future))のジャメイ・カシオ(Jamais Cascio)氏が提唱したもので、今の時代を端的に表す四つの英単語の頭文字をとったものです。

Bは「もろい、脆弱な」を意味するBrittleの頭文字で、「強固でうまく機能しているように見えるものでも予想外のことです。一瞬にして崩壊するようなものさ、脆弱さを持つような状況」を指しています。

Aは「不安」を意味するAnxiousの頭文字で、「混沌とした社会に対して常に将来に不安を感じたり、大量に発

卒業・修了

令和七年度の学位記授与式は、高岡テクノドームで開催された。九学部一七八名が卒業した。大学院は五福の黒田講堂で五二五名が修了した。第七四回となる経済学部卒業生は昼間主コースが三三一名、夜間主コースが二八名、第三四回となる大学院経済共同プログラムが七名であった。

成績優秀者の学長表彰では、経済学部では経済学科昼間主コース中島雄希(なかじま・ゆうき)さん、経営法学科夜間主コース寺崎英樹(てらさき・ひでき)さんが表彰された。

バスで移動して午後二時から富山市国際会議場で学部の授与式を行い、学部長式辞の後、伍嶋二美男越嶺会会長が祝辞を述べ卒業修了を祝った。

その後、隣接のANNAホテルで越嶺会が経費を負担して祝賀会を開催した。伍嶋会長、山瀬副会長や事務局員らも参加し卒業生と歓談した。壇上では、ゼミや友人らとの写真撮影が引きも切らなかつた。

最後に、定年退職になる垣田直樹教授の発声で万歳三唱しお開きとした。



信される情報の中で正しいことに自信が持てないような状況”を指しています。

Nは「非線形」を意味する Non-linear の頭文字で、「原因と結果が直結せず、小さな変化が結果に大きな影響をもたらす、将来の効果的な対策を講じるのが難しいような状況」を指しています。

Iは「不可解、理解不能」を意味する Incomprehensible の頭文字で、「理屈やデータでは理解できない現象が頻発するような状態、あるいはAIがどのようにして結論を導き出すのかを説明するのは困難のように、全体を把握することができないような状況」を指しています。

このように、VUCAは不確実性や複雑性など、外部環境の状況をとらえていたのに対して、BANIはより内面的な「主観的な視点」で捉えた世界観であることが特徴です。BANIは、「不可解で先の見えない不安定な状況」であり、それゆえ不安を実感しやすいことから、多くの人が不安を抱えているような時代だと言えるでしょう。

こうしたBANIのような時代にあっても皆さんが力強

く、輝きながら社会で活躍していくために大切になることについてお話ししたいと思います。

まず、先の見えない不安定な状況の中で必要になるのは「変化に対応するための「柔軟さ」です。自分を型にはめることなく、柔軟に考え、行動することで、環境の変化になやかに適応していくことができるはずですが、そうした柔軟さを持つておくことで、突如やってくる予想外の事態に即応でき、機能不全的な状況に陥るのを防ぐことにつながりますし、そうした状況からの回復力（レジリエンス）を持つことにもなります。

また、様々な情報が氾濫し、簡単にフェイクが作られ流布する時代の中で、何が正しい情報なのか、あるいは自分の判断が正しいのか不安になり、安易に答えを求めてしまいがちになるかもしれません。これから出ていく社会は、与えられた条件から正解を導く、そうした答えが用意されている世界ではありません。ここでは、答えを見つけていくために、「自分で考え抜く力」が求められています。自ら考える過程で、友人や先輩先生などに意見や助言を求め



証書授与



証書授与



伍嶋越嶺会長祝辞



証書授与(大学院)



個々人へ証書手渡し

てもかまわないでしょう。AIも強力な助けになるかもしれません。ただ、最終的には自分で考え判断し、答えを導き出すことを心掛けてください。そうして導かれた答えは、自ら考え抜いたという自信に満ち、それが不安な社会へ立ち向かっていく勇気へとつながっていくはずですよ。

そして、予想外の結果が頻発する「非線形的な」状況下では、失敗を恐れずトライ・アンド・エラーを繰り返してみるのが重要になります。失敗を恐れるあまり行動するのをためらってはいけません。変化のスピードについては、変化のスピードについても含めて「とりあえず試してみる」とことで新たな局面が生まれ、突破口が見つかるかもしれません。

このことは、「不可解な状況」に行き当たった場合にも当てはまります。実際に行動してみることでも何かしらの反響や成果が得られるはずですよ。それをもとに修正しながら適応を図っていくことで状況を打破することにつながると思っています。そのためにも、まずは「失敗を恐れず行動してみよう」という「マインド」を持つことが大切だと思います。

BANIと言われるような、急激な変化が頻発し、先のない不安定な時代において、未来は予測するものではなく、「対応するもの」だと言われています。どのような事態になっても対処できる対応力を高めるために、「柔軟さ」、「自分で考え抜く力」、「失敗を恐れず行動してみるマインド」を大切にしてください。

さて、みなさんは四年間の学びの中で、幅広い知識と深い専門知識を身につけ、様々な課題解決を図っていくための礎を築かれたことでしょうか。ただ、今日のような環境の変化が大きい時代にあつては、学生時代に学んだこと、身につけたことがいつまでも有効とは限りません。適切に学び直しを行い、必要な新しいことを身につけていくことが大切になります。自らの価値を時代環境に合わせて絶えずアップデートし、高めていくことで、新しい時代に対応できる力を身につけていくことがとても重要です。

こうした新しい学びへの挑戦の際には、ぜひ大学・大学院を活用してください。大学は卒業したら終わりではありません。新しい学び、より高



岩内ゼミ



唐渡先生乾杯発声



伍嶋会長開会挨拶



上東ゼミ



橋口ゼミ



深澤ゼミ



小柳津ゼミ



堀江ゼミ

度な学びのために戻ってくる
 ことができず。それに対応
 すべく、大学も大学院も進化
 を続けています。社会人を経
 験して成長した皆さんと議論
 を戦わせる学びの場が実現す
 る日を楽しみにしています。

また大学は学問的な学びを
 するだけの場ではありません。
 大学生活を通じて生涯にわた
 るかけがえのない仲間に出会
 えたのではないのでしょうか。
 大学は自らの人間性を高めて
 いく人生の学びをする場でも
 あります。ですから、社会に
 出て困難にぶつかった時、心
 の支えが必要になった時には
 ぜひ懐かしい学び舎を訪ねて
 きてください。きっと恩師や
 後輩たちが温かく迎えてくれ
 るはずです。そして、再び困
 難に立ち向かう勇氣と力を与
 えてくれると思います。

今日から富山大学経済学部、
 大学院共創経済プログラムは、
 皆さんの母校となります。経
 済学部は創立してから一〇二
 年目を迎え、これまで二万六
 千名にのぼる卒業生を送り出
 してきておりますが、それぞ
 れが地域社会、そして全国各
 地で活躍されており、そ
 うした先輩たちは間違いなく

皆さんの味方となって力を貸
 してくれるはずで。皆さん
 を支えてくれる人たちが大勢
 いるということを支えに
 して、自らの道を自信をもつ
 て進んでいってください。
 皆さんが将来が実り多きも
 のであることを心から願いま
 して、経済学部、大学院共創
 経済プログラム学位記授与式
 の式辞といたします。

令和八年三月二四日
 富山大学経済学部長
 森口 毅彦



岸本ゼミ



中村ゼミ



柳原ゼミ



森口ゼミ



高山ゼミ

令和8年度入学生出身地

都道府県名	男	女	計	
北海道	1		1	
東北	青森県		1	
	岩手県	1	1	
	宮城県			
	秋田県	1	1	2
	山形県			
関東	福島県			
	茨城県	1		1
	栃木県	5		5
	群馬県	2	2	4
	埼玉県	1	1	2
	千葉県	1	1	2
	東京都	1	1	2
信越	神奈川県	2	2	
	山梨県			
北陸	新潟県	6	3	9
	長野県	13	8	21
	富山県	53	44	97
東海	石川県	46	44	90
	福井県	12	8	20
	静岡県	4		4
	愛知県	16	5	21
	岐阜県	32	9	41
近畿	三重県	2		2
	滋賀県	3		3
	京都府	1	1	2
	大阪府	5		5
	兵庫県	3		3
中国	奈良県	1		1
	和歌山県	1		1
	鳥取県			
	島根県			
四国	岡山県	1		1
	広島県			
	山口県			
九州沖縄	徳島県			
	香川県	1		1
	愛媛県			
	高知県			
	福岡県			
	佐賀県			
九州沖縄	長崎県			
	熊本県			
	大分県	2		2
	宮崎県			
	鹿児島県			
沖縄県				
外国の学校	1		1	
外国留学生	4	2	6	
計	223	131	354	

入学
入学式は四月八日(水)、大学院は五福構内の黒田講堂で、学部生は二回に分けて高岡のテクノドームで行われた。大学院生は六〇一名、九学部生は一八八二名であった。経済学部生は一年生が三五四名、三次編入生が十一名であった。大学院共創経済プログラム専攻生は十四名であった。



入学式風景



万歳三唱

垣田先生

富山大学経済学部(旧高岡高商)創立100周年記念事業寄附者ご芳名

多くの方々からご送金いただきました。ご理解とご協力に対し心から感謝申し上げます。記念大会後も引き続きご寄付いただき誠にありがとうございました。

学部

一回 脇坂 実雄 一万

七回 坂井 義雄 非表示

九回 山村 幸男 二万

十一回 黒田純一郎 二万

十五回 中澤 邦雄 五万九千

十六回 松田 弘 二万一千

十六回 石黒 智 二万

二六回 忠 吉春 一万

二九回 細川 俊治 一万五千

三四回 山瀬 孝 十一万一千

短大

六回 匿名 非表示

計一、一三七件

三五八九万八〇一二円也

母校だより

教員の異動

叙勲おめでとうございます

二〇二五年秋の叙勲において 榊原英夫先生(七九歳)が、瑞宝中綬章を受章されました。

訃報

芳賀健一先生(銀行論)

二〇二五年五月十日七七歳

一九八〇年九月十六日着任

二〇〇三年三月三十一日まで

二二年六月在籍(一九八六年三月末までは経営短大)

竹脇誠先生(管理会計)

二〇二六年三月二日七二歳

一九八三年四月一日 着任

一九九六年九月三〇日まで

一三年六月在籍

定年退職

(二〇二六年三月三十一日)

垣田直樹教授 国際貿易理論

一九九〇年四月一日着任

三六年在籍

越嶺会報前号一〇一号に

「定年退職のご挨拶」を寄稿いただきました。

新任

(二〇二六年二月一日付)



多田由彦(ただ・よしひこ) 助教

所属講座

(ア) 学術研究部社会科学系

(イ) 経済経営学科

(ウ) 担当講座・ゲーム分析

担 当・意思決定の科学

・ゲーム理論

最終学歴・中央大学大学院

経済学研究科博士後期課程

前 職・中央大学経済学部

生 年・一九九二年八月

出身地・東京都文京区

ひとこと・私は生まれも育ち

もこれまでの職場も東京であ

り、仕事でもプライベートで

も富山県に訪れたことがな

ったため、文字通りの新天地

としてこの二月に本学に着任

することとなりました。

かつての同僚や共同研究者

友人には北陸出身の方や、北

陸地方で仕事をしたことがあ

る方々が多いのですが、皆が

口を揃えて「ご飯がとて美

味しい」というものですから、ワクワクしながら移住しました。仕事の合間や休日には隙間時間を見つけて通える範囲でお店探しをしました。確かにご飯がとても美味しく、気を引き締めなければついつい財布が緩んでしまいそうな日々をさつそく過ごしております。

大学時代の同期に富山県出身者がいただけで富山県を詳しく知る機会がこれまでありませんでした。しかしいざ移り住んで、富山市内を巡り、射水の伏木富山港（富山新港）や氷見の漁港、高岡市内を巡り、産業の成り立ちなどを調べてみると、富山県が経済的にも文化芸術的にも独自の歴史を生み出してきたのだと知り、非常に興味を惹かれました。富山市独自のコンパクトシティ計画も軌道に乗っているとのこと、いざ暮らしてみても本当に住みやすい町なんだと実感しています。

何よりも本学富山大学は富山県の科学・学問・文化を支えてきた拠点の一つであり、学部を問わず活躍されている研究者の皆様、着任早々親身に事務手続きの助言をしてくださる事務の皆様、研究機関

としての居心地の良さ、集中講義で出会った優秀な学生諸氏と着任してこの一ヶ月、刺激を受ける日々を過ごしております。富山大学よりいただいたこのご縁を大切に自らを高めていく所存です。

私は「意思決定の科学」を専門とする教員として採用されました。主な担当講義は「ゲーム理論」になります。ゲーム理論は人間や企業、国家などの間にある利害対立や協力関係などに焦点を当て、それぞれの意思決定者や意思決定主体がどのような意思決定をしそうなのかを予想する分野になります。授業の中では、現実存在する利害関係に焦点を当てながら、さらに一歩踏み出して「情報の経済学」や「契約理論」に結びつけ、「客観的な立場から利害対立を解消するためにはどのような仕組みを作れば良いのか」についての理論的な話もしていきます。

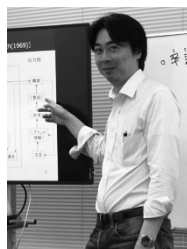
研究テーマとしては「不可知」(unawareness)を取り扱っています。不可知とは、例えばコッホがコレラ菌を発見する以前のコレラ菌の存在

のように、「自然界には存在しているが、人間社会ではまだその存在を認識できていない」というような対象を指します。別の言い方をすれば、客観的な視点では存在する知識と現実の主観での無知とのギャップについて検討をする研究テーマです。私はこの分野で大成すべく研鑽を積んでまいります。

大学教育においては、「もっとカジュアルに学問を」のスタンスで講義をしてまいります。ゲーム理論を厳密に学ぶ方向で講義計画を設計した場合、ゲームの状況の厳密な定義、ナッシュ均衡の厳密な定義、寡占競争の数理モデルの解法やベイジアンナッシュ均衡の計算など、研究者を養成していく方向性での講義になるでしょう。他方で、ゲーム理論はゴリゴリの数理科目でもあるので、加減を間違えれば「どこが経済学なのか？」と疑問に感じて興味関心を失ってしまうかもしれません。私は、具体的な経済現象や社会問題を中心に語り上げていき、こうした問題を議論するためのツールとしてのゲーム理論の立ち位置を紹介

してまいります。授業の中で生諸氏に「ゲーム理論を自分で本を読んで勉強してみたい」と思ってもらえるよう、「自学自習の入り口のための講義」という立ち位置で設計してまいります。

(二〇二六年四月一日付)



鈴木広人(すぎきひろと) 教授

担当…マーケティング・マネジメント

最終学歴…早稲田大学大学院
理工学研究科 経営システム工学専攻博士後期課程
(博士(経営工学))

前職…城西国際大学
経営情報学部総合経営学科
准教授

出身地…東京都台東区

生年…一九七八年八月
ひとこと…早稲田大学では、マーケティングの研究を中心としつつ、ロジスティクスや生産現場の改善など様々な研究・経験をさせて頂きました。

製品が最終消費者へ届くまでの過程を広く知ることができたのは、マーケティングの研究に非常に役立つています。マーケティングという売れそうな製品を企画してプロモーションしてたくさん販売する、というイメージを持たれがちですが、生産やロジステイクスの重要性も非常に高く、広い知見・視野を持つことが重要と考えています。



金 鑫 (きん・きん) 講師
担当 労働経済論

最終学歴 早稲田大学大学院
経済学研究科 (博士 経済学)

前職 大東文化大学助教
出身年 一九八七年三月
出身地 中国吉林省
ひとこと 先ず名前について、

「金」の字が重なることで、自己紹介の際よく驚かれます。物質的な意味合いを連想されやすい字ではありますが、豊かさや価値が累積するイメージを持つ字でありますので、恵まれた状態や発展性を願って付けられたものかと思えます。

博士論文では中国の労働組合の経済効果を計量的に分析しましたが、現在は、雇用構造や働き方、賃金決定のメカニズムを理論的・実証的に研究しております。とりわけ、育児や家庭生活と両立可能な働き方に関心を持ち、ワーク・ライフ・バランスと生産性の両立を通じて、多様な人々が安心して働き続けられる社会の実現に資する知見の蓄積に取り組んでおります。

転出

(二〇二六年三月三十一日)
八百章嘉准教授

(刑事訴訟法)
二〇一三年一月一日着任
十二年六月在任
大東文化大学 法学部 教授へ

松本知己特命助教
(統計学・情報技術)

二〇二四年四月一日着任
二年在任
大東文化大学
経営学部経営学科へ

日隈美朱助教 (流通論)

二〇二二年四月一日着任
四年在任
名城大学 都市情報学部へ
(お礼の一言)



このたび、二〇二六三月をもちまして富山大学経済学部を退職することとなりました。二〇二二年四月の着任以来の四年間、研究と教育に向き合いながら、たいへん充実した時間を過ごさせていただきました。

多くの論文を執筆する機会に恵まれ、学外からもさまざまなお仕事にいただき、のびのびと研究に打ち込める環境の中で、自分らしさを大切にしながら歩むことができた。

た。

先生方、職員の方々が、そしてゼミ生や講義に来てくれた学生の皆さんの温かな励ましに、どれほど支えられたかわかりません。心より感謝申し上げます。

これからは立山連峰を望む富山をあとにし、鈴鹿山脈を遠くに眺め、鬼崎の海苔の支柱が並ぶ愛知県知多半島の地で研究を続けます。

富大で培っていただいた学びを胸に、これからも一歩一歩進んでまいります。本当にありがとうございました。

学会開催報告

第十九回

NAANコンファレンス
二〇二五年十一月七日
富山大学経済学部にて開催。

まず、越嶺会の多大なご支援を賜り、コンファレンスを円滑に実施し、無事に終了することができましたことに、心より感謝申し上げます。

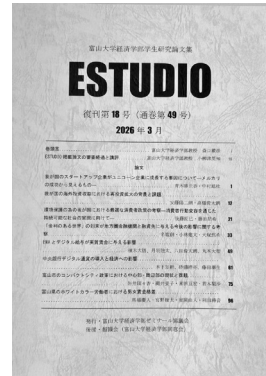
当日は、韓国・江原大学から三名、中国・中南林業科技大学から五名、日本国内からは広島大学、信州大学、神奈川県、大阪公立大学など

の研究者七名に加え、本学経済学部から九名、GRASSから四名、大学院生十数名の参加があり、総勢四十名余りで十五本の研究発表が行われました。

また、懇親会でも活発な意見交換と交流が行われ、非常に有意義な時間となりました。



学生の活動



経済学部学生ゼミナール協議会「ESTUDIO」復刊第十八号（通巻第四九号）二〇二六年三月発行掲載論文一覧

- 青木律世香・中村旭杜「我が国のスタートアップ企業がユニコーン企業に成長する要因について—メルカリの成功から見えるもの—」
- 安藤陽二郎・高橋俊太郎「我が国の海外投資収益における再投資拡大の背景と課題」
- 後藤匠巳・藤田昂希「環境保護の為の我が国における最適な消費者政策の考察—消費者行動変容を通じた持続可能な社会の実現に向けて—」
- 名塩創・小林建太・犬塚悠希「金利のある世界」の到来が地方圏金融機関と融資

先に与える今後の影響に関する考察
(以上、小柳津ゼミ)

- 植木大悟・丹羽陸太・八田倫太郎・丸本大聖「EWAとデジタル給与が実質賃金に与える影響」
- 木下知樹・砂澤皓亮・藤田泰生「中央銀行デジタル通貨の導入と経済への影響」
(以上、本山ゼミ)

- 岩井琉々香・縄井愛子・米田亘宏・若本梨沙「富山市のコンパクトシティ政策における中心部・周辺部の現状と課題」
- 馬場慶人・宮野稜太・室岡由人・利田樺音「富山県のホワイトカラー労働者における男女賃金格差」
(以上、矢島ゼミ)

本部・支部だより

東京富山県人会

連合会総会講演



中尾哲雄さん
「小泉八雲と富山」

渡邊 慶孝

三月一七日連合会事務局が入っている富山県赤坂会館隣のドイツ文化会館で連合会役員ほか約一〇〇名を前に、興味深い内容を熱くお話された。

ラフカディオ・ハーン、小泉八雲の生い立ち、経歴を紹介の後、ハーンが日本文化に深い興味を持ち多くの怪談や著作で日本を海外に紹介したことや、中尾さんが富山大学に入学されて「ヘルン文庫」でハーンの著作に触れたことを語られた。

会長をされている「富山八雲会」の資料もいただき、会



員の皆さんと啓蒙活動をされている様子も伺いました。講演を聴き終えてハーン本人をはじめ妻の小泉セツと家族、馬場はる刀自、南日恒太郎・田部隆次兄弟、ほか多くの先人の思いがこの文庫に込められていることを感じました。

まとめとして、席上配付された資料の一部を紹介します。「・異文化を尊重することの重要性を世界に発信してきたハーンの言葉は優れて現代的な課題を示してくれています。」

「庫」開設、併せて関東越嶺会と東京富山県人会連合会のかわりについて触れておきたいと思えます。

ハーンは一八五〇年に母の国ギリシャで生まれ四歳のとき父の国アイルランドに渡り苦勞を重ねて一九才でアメリカへ行き努力して新聞記者に。一八九〇(明二三)年、四〇才でもともと興味のあった日本へ。旧制松江中学、師範学校で英語を教えながら著作を通じて日本を世界に紹介しました。この頃、旧土族の娘・小泉セツと結婚し、松江に一年半暮らし、熊本旧制第五高等学校で三年勤めます。その後、神戸の英字新聞社に三年勤めて、東京帝国大学で七年英文学を講義して多くの人材を育てました。この時の教え子に富山県出身の田部隆次がいて、のちの富山大学「ヘルン文庫」誕生につながります。

田部は一八七五(明八)年富山市の南日家に生まれ、ハーンに学んで「小泉八雲」を著しています。

時は移りハーンは一九〇四(明三七)年九月二六日五四

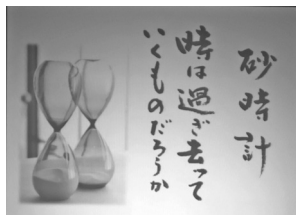
歳で病没しました。

田部の実兄は初代旧制富山高校長となった南日恒太郎でした。田部は、一九二三年の関東大震災を経験したハーンの遺族がその著作を安全に保管できる所へ譲渡したい意向を持つていることを南日に伝え、南日は、旧制富山高校の開設費用を提供した馬場ハルに寄附を仰ぎ、一九二四(大一一三)九月一日に高校開設記念として「ヘルン文庫」が誕生しました。



関東越嶺会は二〇〇一年に東京富山県人会連合会に入会し、交流を深めるとともに、会議室を利用させてもらっています。

また、連合会の役員として、名誉顧問・元副会長中尾哲雄さん(学部八回)、元評議員蒲田弘さん(高商一八回)、元専務理事大松日出夫さん(学部五回)、元常務理事安倍樹さん(学部七回)、現監事高土哲夫さん(学部八回)ほか常任理事、理事も含めて多数が運営に参画しています。連合会には故郷の出身地別、現居住地別、出身校同窓会別、婦人会の五四、法人三三、計八七団体が加入しています。毎年六月の「懇親の集い」に千人近くが集うほか行事・活動が続きます。



わたなべ・よしたか
元関東越嶺会会長
東京富山県人会連合会
常任理事
学部十四回

東海支部 第四回ゴルフコンペ開催

去る二〇二五年十一月十六日(日)に岐阜県多治見市の愛岐カントリークラブにて開催しました。

二二回生から六一回生迄の幅広い年代のゴルフ好きの同窓が十二名集まり、紅葉の中間のない絶好のゴルフ日和に恵まれ楽しいひと時を過ごしました。

表彰式は、白石ゴルフ部会長の参加者への感謝の挨拶か



ら始まり、四回目ともなると顔見知りも多くなり一年間の旧交を温める楽しいパーティとなりました。

第一回十五名、第二回十四名、第三回は十七名で今回の参加者は十二名と少し少なかったことから、次回には友人等への誘いをして参加者を増やそうと皆で申し合わせしました。

優勝は三一回生の中島弘人さん。ベスグロは三一回生の日比野真也さん。

優勝の中島さんは三連覇達成です。おめでとうございませう。

支部長の中村からは東海支部の来年度の総会・懇親会は二〇二六年九月二十七日の日曜日開催の案内と知人を誘っての出席を依頼しました。

- 参加者
- 二二回 中村昌弘
 - 二八回 高崎真樹夫
 - 三一回 小出典一、中島弘人
 - 三四回 日比野真也
 - 三六回 加藤浩成、橋本茂雄
 - 三七回 白石憲生、中島英登
 - 四七回 倉地博之
 - 五六回 蜂谷将太
 - 六一回 田口寛道

(中村記)

お詫び(事務局より)

越嶺会報前号一〇一号の東海支部総会の報告記事で、合唱に花を添えてもらった生演奏の三人の写真が松原正様の載っていない二人になっていました。松原様にお詫びいたしますとともに、改めて掲載してお詫び申し上げます。



関東越嶺会 講演会新年会

二〇二五年一月三十一日(土) 正午より富山県赤坂会館にて開催されました。

出席は三〇名。司会を林明宏代表幹事が務め、来賓・ゲ



講演会新年会 山本講師

ストを紹介し祝電を披露した。続いて飯塚修会長が「今年は午年なので一步一步それぞれペースで何事もうまくいくように、明るい年になることを願っている。本日の講演のテーマに関連して、少子化は学校関係全てと多方面に影響が及んでおり、効果のある対策が望まれる。」と開会挨拶を述べた。

今回の講師は、山本康二氏(学部三二回、一九八四年卒業)にお願いした。河合塾で、広報・生徒指導・情報誌作成・高校大学営業・新しい教育開発などで要職を務め、その知見から「新年会で考えてみたい、富大経済学部と同窓

会にできること、少し未来にどうなっていたいか、北陸の大学はこの先どうなるか」との演題で講演してもらった。

・最近の大学入試周辺情報

一九九二年二百万人超の十

八歳人口は、現在百万人程度、二〇四〇年には七十七万人になる。大学数は八百を超える(国立八十数校)。受験生獲得に苦しむ大学も多い。大学には、教育・研究・地域社会貢献が期待されている。そのため国も、大学統廃合の後押しの中で、地域を守る取り組みも大切な視点としている。

・富大応援団としての同窓会

十八歳で富山県外に出た後、Uターンする人は六割。北陸地区の人口減少は加速する。この様な分析を経済学部矢島ゼミ生たちが行っている資料も紹介された。富大経済は北陸地区を引っ張る存在として、今後役割は増えていく。そのためにも、同窓会としてどう応援していくか。唐渡広志教授に同窓会への期待を伺った。「先輩たちの今の仕事を聞かせてもらう場面」を創ること。そのためにも、若手の参加を促す必要がある。

連絡手段を郵送からメールやLINEへ広げることも必要。また在学生時代から、同窓会の活動に参加できる仕組みも、同窓会の活性化に繋がるのではないかと。

今回は、講演後半を質疑応答とし、活発な意見交換の流れのまま、第二部の新年会での話題提供となりました。



講演会新年会 会場風景

新年会の開始に先立ち、来賓の東京富山県人会連合会東豊昭専務理事から「県人会活動が停滞している団体もある。

高齢化や個人情報情報の壁により会員をなかなか増やせない。講演は有難かった。

明るい話題として朝乃山の今後の活躍に期待している。「とのスピーチを頂きました。永井雅律副会長より

「朝乃山には新しい大関を目指してもらいたい。名古屋出身の私は大学受験時には河合塾も視野にあった。子供達へ対する手厚い支援は塾にも波及している。皆様には素晴らしい一年を、また、母校のますますの発展を祈念する」と乾杯発声があった。

ケータリングサービスの食事と富山県産の鱒の寿しや美酒を賞味しながら旧交を温めました。若手会員の新川兼史、長岡恵子両氏より、富山大学経済学部を応援するために同窓会組織の更なる発展に向けて決意の表明がありました。最後は檜崎進副会長より「大学の同窓会、地域の会はしっかりしなければ。若者にいかに参加してもらうか工夫されたい。越嶺会が盛んになるためにも皆さん協力しあっていきましよう。」と中締め挨拶があり、関東一本

締めにてお開きとなりました。

出席者

〔講師〕 山本康二(学部三二回)

〔来賓〕

東豊 昭(東京富山県人会 連合会 専務理事)

〔ゲスト〕

寺田 勉(仰岳会(工学部))

酒井正之(雪紋会(理学部))

〔会員〕

〔学部〕

五回 大平恵久

八回 高土哲夫

一回 塚 光雄

一回 柳澤一朗

一回 渡邊慶孝

一回 福田哲郎

一回 有沢正道

一回 永井雅律

一回 竹澤喜孝

一回 飯塚 修

一回 吉川倫子

一回 西垣栄一

一回 森 秀貴

一回 林 明宏

一回 宮村敬治

一回 柿本浩和

一回 新川兼史

一回 長岡恵子

〔経営短大〕

五回 檜崎 進

(林 明宏 記) 立田征夫

会員の訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

卒業回	お名前	ご命日	卒業回	お名前	ご命日
元教員	芳賀 健一	令和 7 (2025). 5. 10	学部22回	梅本 清一	令和 8 (2026). 2. 4
元教員	武脇 誠	令和 8 (2026). 3. 21		桑田 顕経	令和 7 (2025). 12. 8
高商18回	岩田 市三	平成30(2018). 4. 24	学部23回	本多 康英	令和 7 (2025). 10
学部 2 回	杉木 宏行	平成31(2019). 3. 11	学部25回	富田耕一郎	令和 8 (2026). 3. 10
	堀田 章	令和 7 (2025). 10. 25	学部34回	松川 誠一	令和 8 (2026). 1. 18
学部 3 回	稲葉 茂樹	令和 8 (2026). 2. 15	学部38回	加藤 幸治	令和 7 (2025). 11. 15
学部 4 回	篠川 賢一	令和 7 (2025). 11. 22	短大 1 回	石橋 孝雄	令和 7 (2025). 11. 20
	玉井 忠重	令和 5 (2023). 9. 8	短大 2 回	高橋 芳邦	令和 7 (2025). 8. 1
学部 5 回	加藤 洋一	令和 7 (2025). 4. 14	短大 5 回	板川 清治	令和 2 (2020). 1. 13
学部 7 回	小又 滋樹	令和 7 (2025). 11. 6	(学部40回)		
	寺本 雅一	平成30(2018). 2. 4	短大 7 回	津田 泰信	令和 5 (2023). 4. 28
学部 9 回	清水 清三	令和 7 (2025). 9. 18	短大 9 回	高畠外志雄	令和 7 (2025). 5. 22
学部14回	岡島 芳行	令和 7 (2025). 2. 11		直江 透	令和 2 (2020). 7. 29
	本田 保則	令和 6 (2024). 5	短大10回	米田 稔生	令和 7 (2025). 5. 21
学部16回	阿原 稔	令和 8 (2026). 2. 20	短大12回	奥野 豊	令和 7 (2025). 11. 19
学部18回	山田 義昭	令和 7 (2025). 2	院 1 回	雨宮 洋司	令和 7 (2025). 12. 31
学部19回	牛島 幹男	令和 7 (2025). 2. 26			

越嶺会総会
六月十日(水)
午後六時三〇分
カナルパークホテル富山
会費一万円

石川支部総会
七月三十一日(金)
午後六時三〇分
金沢ニューグランドホテル

東北支部総会
今年から毎年開催します
十月一七日(土)十二時三〇分
仙台駅周辺
懇親会費 五千元

福井支部総会
十月二四日(土)午後六時

関東越嶺会総会
九月二六日(土)
正午
富山県赤坂会館
唐渡先生、伍嶋会長
が出席予定

東海支部総会
九月二七日(日)正午
東京第一ホテル錦

関西支部総会
九月十二日(土)
正午
がんこ本店
新幹事の世話で
新趣向で開催

越嶺会総会、支部総会の案内

知られざるK先輩夫妻

田中 敏彦

はじめに

私が、ハンセン病回復者家族・遺族としての問題に関係したのは、祖母小林マツノが一九三五（昭和一〇）年、母の姉小林ミトの夫、松本初一を自宅に招いたことに始まります。つまり、九〇年以上の歴史となります。

義理伯父・松本初一は、佐賀市嘉瀬村の村長の長男に生まれました。

この嘉瀬村は、下村湖人「次郎物語」の舞台となり、九州有数の穀倉地帯でもあります。近年では、世界バルーンフェスティバル（熱気球）が開催されています。

さて、松本初一は、十七歳の時、ハンセン病を発症し、実家の仕送りを頼りに一九四六年まで療養所に入所しました。一九四三年プロミンに始まる治療は、この病にあるL型・T型のうちL型に

は有効でしたが、T型（神経癩）ではリバウンドして病状は進行しました。松本初一はT型で、両眼の視力をほとんど失ったのです。（現在は治療法が確立し後遺症を残さずに治る病気となっています。国の隔離政策の違憲性も認められ、二〇一九年七月二四日安倍首相が謝罪した。）

その頃、松本初一の実家では両親が亡くなり経済的にも困窮し、私の実伯母が、患者でないのに療養所に一九五二年入所したのです。

一 私は一九七六年に富山大学経済学部に入學し、一年の夏休みに実兄と一〇日間の九州一周旅行に出かけました。その時初めて、伯母夫妻がハンセン病療養所「菊池恵楓園」（熊本県合志市）に居ることを知りました。それから、この「ハンセン病療養所菊池恵楓園」のことを調べ始めました。

伯母が「社会保障で生きるとるけんね」と涙したことを、忘れることはできません。

二

K先輩と出会ったのは、こ

の時でした。K先輩夫妻は、「私にも後輩ができて嬉しい！」と言われたそうです。伯母もうきうき嬉しそうでした。

このとき私は、この病と人生を掛けてかわり続けなければならぬ、と狼狽したことを覚えています。

一九七六年当時、厚生省が把握した患者数は一万七九名。その内、菊池恵楓園在園者一千三八六名、現在在園者一三〇名。五〇年間で一〇分の一に減少しています。

そんな中、二〇二四年三月にK先輩の奥さんが一〇四歳の天寿を全うされました。K先輩夫妻には実子はなく、北九州市より姪御さんが葬儀に來園され、お話を伺うことができました。

ところで、K先輩は中国戦線から復員し、ハンセン病に罹患したため直接療養所に入所され、将校服のまま療友に挨拶に廻っておられたのですが、療友たちが憲兵服と間違えて伯父は「いよいよこの病で殺されるとか」と思ったそうです。後で療友とわかると

皆から頼りにされました。毎年繰り返される予算獲得闘争でも全国十三の療養所の代表を東京に送り待遇改善を勝ち取ってきました。

三

このように伯父たちはK先輩夫妻と共に厳しい戦後を乗り切ってきました。

昭和四〇年代に入ると、笠智衆さん（熊本県玉名市玉水町出身浄土真宗本願寺派來照寺住職の息子）が、慰問に來園されました。

交流会で、啓発活動や社会復帰が進まないとの悩みを聞いて、最初の啓発映画『厚い壁』の制作に力を貸してくれました。笠智衆さんは上条先生役で、自治会長だったK先輩も刑事役で出演しました。映画制作の成功は療友の自信にも繋がったのです。

昭和四〇年五〇年代、笠智衆さんは帰郷すると必ず恵楓園を訪問されました。事前に連絡すると療友に迷惑がかかるからと突然來園されるのが常でした。

一九九三年三月笠智衆さん他界、同年十二月K先輩も他界されました。

K先輩の功績には、社交流事業として園内に練習用球場を二面建設し、中・高生に開放したこと、少年舎・少女舎の子供達に生乳を供給するため乳牛飼育を始めたこと、茶などの商品作物の収益を自治会に入金するようにしたなどがあります。

K先輩は高商出身だから軍隊では主計将校と思っていました。が、葬儀の折、遺族の方から師団司令部付通信将校であったと聞きました。K先輩は、長崎県島原市出身です。

結び

大阪吹田市在住の私とK先輩との出会いは偶然ではなく私の富山大学経済学部入学が重なって起きた必然かと思うのです。

ハンセン病問題・不妊訴訟問題・障害者難病者問題で富大理学部OBの方も知り合います。共に協力していきたいと考えています。

たなか・としひこ
学部二八回

体育会

秋の球技大会 ボウリング

十一月二二日(土)に富山地鉄ゴールデンボウルで開かれた秋の球技大会(ボウリング)では、十一チームの参加のもと熱戦が繰り広げられた。一チーム三人でそれぞれ三ゲームを投げてそのトータルで順位を争う形でゲームを行った。その結果、「トータルアベレージで一六九・〇〇の「飯山信金五福」チームが優勝、二位には「レオンテイン」一



五六・一一、三位には「酒井・R翔麻」一五四・六七が入った。個人賞は近藤輝一さん一八三・〇〇(最高二一〇)でした。秋のひとつを楽しく過ごすことができました。しかし参加チーム数が予定していた数より少なく(女性参加者が五人)、次回はさらに多くの学生に出てもらえようように準備をしていきたい。

二〇二五年度体育会総会

十二月十七日(水)経済学部演習室で令和七年度総会が開かれた。総会では体育会加盟クラブ一六のうち一三クラブの代表者が集まり、令和七年度活動報告と会計決算報告、令和八年度の活動計画と会計予算が話し合われた。

令和七年度では、二回の球技大会と部活動援助、新入部員アンケート分析、大学祭実行委員会や学生委員会との交流、全日本学生ビーチボール大会への協力などが行われ、女子バレーボール部・水泳部・カーリング部の加盟があった。各クラブへの援助も前年度にまして充実させており、



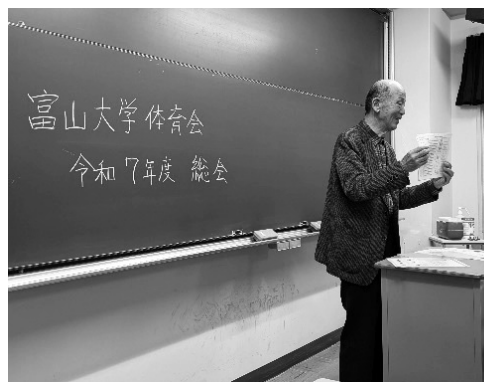
本年度もクラブへの支援拡充へと繋いでいく。また、新入生への加入促進に力を入れていくとともに、体育会室を整備して活動の定着を図っていく。

新委員長には空手道部の市川巧真さん、新副委員長にはアイスホッケー部の吉田麻美さんが選任されて、全一七名の事務局員が紹介された。

さらに、会の最後には体育会OBの嶋谷潤一郎さん(第五期委員長)から現事務局員並びに各クラブ代表に熱い激

参加チーム大募集**学生ビーチボール交流大会**

日 時：6月20日(土) 9時～
 会 場：富山大学第3体育館
 参加資格：大学・短大・専門学校等に
 在籍している学生
 チーム編成：男女問わず4名編成
 主 催：同大会実行委員会
 (朝日町教育委員会内)



励の言葉をいただき、引き締まった雰囲気です。総会を終えることができました。

【第36回越嶺会グリーン会ゴルフコンペのご案内】

開催日時：2026年10月18日(日) 7:00スタート(茜→楠、蘭→茜 2コース同時)

開催場所：太閤山カントリークラブ

(〒939-0323富山県射水市平野1番地/TEL：0766-56-1200)

参加費：プレー代 16,420円(税込 / キャディー・乗用カート付き)

※キャディー不足によりセルフプレーをお願いする場合がございます。

※セルフプレー代 14,220円(税込 / 乗用カート付き)となります。

会 費：5,000円(但し、20代・30代 3,000円)

お申し込み先：越嶺会事務局 930-8555 富山市五福3190 富山大学経済学部内

TEL：076-445-6411(直通) / FAX：076-445-6419(学部共通)

E-mail：etsurei@eco.u-toyama.ac.jp

お問い合わせ先：幹事 金瀬正志(学部41回)

930-8588 富山市城北町2番36号 日本海ガス(株)

TEL：076-433-1212 / 携帯番号：090-8965-1810

E-mail：kanase@ngas.co.jp

※参加申込締切は、9月中旬頃を予定しております。

※申込方法はFAXやメール等と、越嶺会ホームページに申込専用サイトを設置します。

ふりがな	生年月日 昭和・平成 年 月 日生まれ		
氏 名	卒回	回	ゼミ
住所〒	—		セルフプレー 可 不可
連絡先TEL	メール		
同伴希望者①	住所	卒回	ゼミ
同伴希望者②	住所	卒回	ゼミ
同伴希望者③	住所	卒回	ゼミ



富山大学基金だより

第27号
2026.5.1発行

●学生海外留学支援事業 留学体験記

所属：理学部 理学科 2年
名前：川田 真央
留学先：マレーシア
留学先機関名：UTARトウungk・アブドール・ラーマン大学)



この度は、富山大学基金による海外研修支援をいただき、ありがとうございました。私たちは、理学部国際コースとして、5週間の海外研修に参加し、主にトウungk・アブドール・ラーマン大学で授業を受講しました。

研修前半は、発音や語彙など英語の基礎学習に加え、短編映画の要約やVlog制作などに取り組み、英語で考え、伝える力を養いました。また、宗教や地域ごとに異なる文化についてプレゼンテーションを行い、多文化社会への理解を深めることができました。

研修後半では、生物多様性や環境問題などを英語で学びました。マングローブ林での野外研修やテラピンの保護施設訪問を通して、熱帯地域特有の生態系や環境保全の重要性について理解を深めました。

授業外では孤児院訪問や民族文化体験、さらにサンウェイ大学やモナッシュ大学を見学し、現地の価値観に触れるとともに、今後の留学への意欲も高まりました。



マングローブ林での野外研修の様子



民族文化体験の様子

今回の海外研修は、多様な価値観に触れることができる貴重な経験となりました。今後もこの経験を活かし、積極的に英語学習に取り組んでいきたいと思ひます。

●夏季オンライン英語研修プログラム支援事業 留学体験記

所属：工学部 工学科 1年
名前：松浦 楓
留学先：フィリピン
留学先機関名：アテネオ マニラ大学

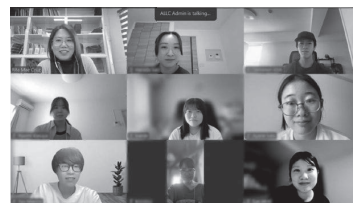


この度は、富山大学基金の夏季オンライン英語研修プログラムに参加する機会をいただき、ありがとうございました。

私はオンライン形式で、現地の先生と富山大学の学生の皆さんと一緒に、10日間の授業に参加しました。授業では、ライティング・リーディング・スピーキング・リスニングの4技能を使った演習に加え、ロールプレイやディスカッションが中心で、毎回楽しく学ぶことができました。

もともと人と話すことが好きで、自分の英語コミュニケーション能力を高めたいと思ひ参加しましたが、本当に参加してよかったと感じています。学年や学部の違う仲間と英語で意見を交わす経験は新鮮で、英語で伝えることの面白さと難しさの両方を実感しました。

この研修を通して、より海外に興味を持ち、もっと世界を見てみたいと感じたため今年3月にはフランス研修に参加することを決めました。今後も、さまざまな人と交流し、より自分の視野を広げていきたいです。貴重な機会を本当にありがとうございました。

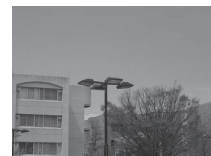


オンライン授業の様子



●課外活動施設支援事業 (五福キャンパステニスコートLED投光器改修事業)

令和7年10月1日に富山大学統合20周年記念事業に伴い、企業様からの寄附を用いて学生生活の支援および節電事業の促進を目的に、五福キャンパステニスコート投光器(LED)の一部改修に活用させていただきます。改修時期は令和8年夏頃に実施予定です。



●令和7年度学部1年次生短期海外派遣プログラム支援事業

富山大学では、教育における戦略の1つとしてグローバル人材の養成を掲げています。「学部1年次学生の短期海外英語研修」は、教養教育院で修得した語学力により、短期海外英語研修において高度な知識や諸外国の習慣を身につけさせ、広い国際的視野をもって学部専門教育における学修につなぐことを目的で実施しています。令和8年2・3月に、2週間から4週間の短期海外派遣プログラムを実施し、参加費の一部を富山大学基金から支援しました。研修先は、ニュージーランド オークランド大学（10名）、マレーシア トウンク アブドゥル ラマン大学（25名）、台湾 開南大学（25名）、オーストラリア アデレード大学（10名）1年生70名が短期海外英語研修に参加しました。

令和8年4月15日に帰国報告会が開催され、プログラム参加学生のうち4名が発表し、それぞれニュージーランド、マレーシア、台湾、オーストラリアでの研修内容、グループワークでの意見交換・発表、ホストファミリーや学生サポーターの人の温かさや優しさ、キャンパス周辺や町の雰囲気などの感想を述べました。また、質疑応答では、申し込み手続き、語学力の向上・維持について質問があり新1年生の関心の高さがうかがえました。



●Giving Campaign 2025を通じて約12,000票の応援、約210万円の寄附金を創出

富山大学では、学生の研究活動や課外活動の応援・支援を目的に、学生団体による活動資金調達を行うイベント「Toyama University Giving Campaign 2025」を令和7年10月10日～19日まで参加し、12,000票の応援、約210万円の寄附を得ました。

同キャンペーンには2024年から参加し昨年は2回目となります。参加する学生団体等は自分たちの活動等の情報発信を行い、企業、卒業生、ご家族、友人からの応援・支援を受け、寄附金を団体活動資金として活用しています。

Giving Campaign 2026にも参加いたしますので、学生団体への応援・寄附のご協力をお願いします。 今年度開催日程：2026.10.16(金)～25(日)



●寄附者様ご芳名一覧 (令和7年10月～令和8年3月)

寄附者のご芳名は五福キャンパス事務局棟玄関フロア及び富山大学基金ウェブサイトでもご紹介しております。

【個人】(50音順にて記載)

浅井 岳見 阿部 柗真 上坂 真織 遠藤 俊郎 齋藤 滋 新宮 靖広 杉浦 吉治 鈴木 啓之 高木 繁雄 谷口 祐樹 寺垣 隆志 戸田 英樹 中茂 樹 長坂 保彦 長津 輝彦 中野 繁章 萩原 新之介 林 正人 伏喜 俊至 水野 真理子 山田 勉 (ほか公表辞退 20名)

【企業・法人等】

株式会社インテック オークス株式会社 株式会社北日本新聞社 サカト産業株式会社 三耐保温株式会社 三和ボーリング株式会社 塩野フィネス株式会社 立山化成株式会社 株式会社チューエツ 一般社団法人富山県農業連合会 富山大学生生活協同組合 富山大学同窓会連合会 長瀬ラングア株式会社 日本海ガス絆ホールディングス株式会社 株式会社日本空調北陸 株式会社ハマデン 株式会社ビートーブ 北陸コンサルタント株式会社 一般財団法人 立仁会 (ほか公表辞退 2社)

●富山大学基金の寄附受入状況

受入期間：令和7年10月～令和8年3月末

寄附の種類	寄附件数	寄附金
富山大学基金(一般)	49件	9,559,372円
うちリサイクル募金	2件	5,795円
修学支援基金	14件	1,297,500円
研究等支援基金	7件	275,400円
合計	70件	11,132,272円

●富山大学、メルマガはじめました！



毎月、富山大学の最新情報をお届けします。

お問い合わせ先：富山大学総務部総務課広報・基金室(基金担当)

〒930-8555 富山市五福3190 Tel. 076-445-6178 Fax. 076-445-6063

E-mail : kikin@adm.u-toyama.ac.jp URL : https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp



越嶺会総会へのお誘い

日時：2026年 6月10日 (水) 午後6時30分

会場：オークスカナルパークホテル富山

富山駅北口 (富山市牛島町11-1 電話：076-433-1122)

会費：1万円 (卒業・修了3年-R6、7、8年3月卒修-までは無料招待)

FAX 送信票 (越嶺会事務局 FAX:076-445-6419)

6月10日 (水) 総会に出席する

お名前 _____ 学部 短大 院 年卒 回

通信欄

住所変更通知欄 (越嶺会事務局 FAX:076-445-6419)

住所や姓名等に変更があった際はFAX等でお知らせ下さい。

お名前 _____ (年 回卒)

新住所 〒 _____

(差し支えなければメールアドレス _____)

新電話 _____

旧住所も書いてもらえば間違いを防ぐことができます。

旧住所 〒 _____